



今号ではテント倉庫の張替えなど修理についてお話しします。

張替えは必要？

ファイバースコープによる
無料で劣化診断を行っています。
是非お問い合わせください！

テント膜の寿命は一般的に**10年**と言われています。

経年劣化による張り替えは勿論、最近では異常気象による強風や**台風被害での張替え**の問い合わせが増えています。

一部分でも穴や傷が入ってしまうと、そこからは少しの**風や衝撃**でも**広がって**しまいます。

弊社では**補修対応**と致しまして**3種類を提案**しております。

以上の三種類の方法にて弊社では対応させていただいております。

1.新しい膜の取付

古くなったテント倉庫の**シート材**だけを新しく張り替えます。
張替え時にテント倉庫の**フレーム**などの**状態確認**も行い、
必要に応じて鉄骨部分の**再塗装**や**修正・補修**を行います。
扉の開閉不良などオプション品の状態も同時に診断し、
補修をご提案させていただきます。



2.キャッピングによる補修

キャッピング工法とは文字どおり「**帽子をかぶる**」が命名由来です。古くなったテント倉庫に新しいシート膜をかぶせる工法で、張替え工法と比べ**比較的安価**に収まります。
難点は、張替えした倉庫と比べると、キャッピング施工した**倉庫内が暗くなります**。



3.テープでの補修

劣化や雨漏りなどの**緊急対応**などで、専用**防水テープ**を**張り付ける工法**です。臨時対策としてこの作業を行いますので、近い将来張り替えやキャッピングが必要になります。
緊急で雨漏りを補修したいなどといったお客様の要望にも対応させていただきます。

また弊社では、補修後コーキング剤で補強する事で、**剥がれ防止策**を行っています。



お客様の大切な資材が濡れる前に是非ご相談下さい！